

児童虐待認定状況等について（令和7年度速報値）

1 児童虐待認定の状況

札幌市の児童相談所における令和7年度の児童虐待認定件数は2,721件で、前年度の2,470件から251件（10.2%）増加。虐待の内訳は、心理的虐待が1,380件と最多。被虐待児の年齢構成で、小学生が就学前の児童（「3歳未満」と「3歳～就学前」の合計）を上回った。

(1) 虐待の内容

（単位：人）

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待	合 計	増減率
5 年度	663 25.2%	39 1.5%	576 21.9%	1,349 51.4%	2,627 100.0%	-
6 年度	645 26.1%	40 1.6%	498 20.2%	1,287 52.1%	2,470 100.0%	-6.0%
7 年度	733 26.9%	52 1.9%	556 20.4%	1,380 50.7%	2,721 100.0%	10.2%

(2) 被虐待児の年齢構成

（単位：人）

	3歳未満	3歳～就学前	小学生	中学生	高校生・その他	合 計
5 年度	378 14.4%	693 26.4%	943 35.9%	386 14.7%	227 8.6%	2,627 100.0%
6 年度	418 16.9%	599 24.3%	955 38.7%	345 14.0%	153 6.2%	2,470 100.0%
7 年度	408 15.0%	608 22.3%	1,157 42.5%	351 12.9%	197 7.2%	2,721 100.0%

(3) 主な虐待者

（単位：人）

	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	合 計
5 年度	1,060 40.4%	228 8.7%	1,266 48.2%	17 0.6%	56 2.1%	2,627 100.0%
6 年度	1,068 43.2%	153 6.2%	1,154 46.7%	19 0.8%	76 3.1%	2,470 100.0%
7 年度	1,100 40.4%	132 4.9%	1,389 51.0%	11 0.4%	89 3.3%	2,721 100.0%

2 通告受付の状況

令和7年度の児童虐待通告件数は1,826件であり、昨年度から44件（2.4%）減少。虐待認定した件数は1,219件で、前年度比120件、10.9%の増。通告経路は、警察からが875件と最多（面前DVに伴う心理的虐待の通告が多い）。

(1) 児童虐待通告受付件数

（単位：世帯）

	通 告 件 数	増 減 率	通告のうち虐待認定件数
5 年度	1,800 (159)※1	14.4%	1,107 (6)※2
6 年度	1,870 (132)※1	3.9%	1,099 (5)※2
7 年度	1,826 (134)※1	▲2.4%	1,219 (17)※2

※1 （ ）は、児童相談所から各区に調査を依頼した件数で内数。

※2 （ ）は、児童相談所から各区に調査を依頼した案件において、区が虐待と認定した件数で内数。

(2) 児童虐待通告経路

（単位：世帯）

	家 族			親族	児童 本人	近隣 ・知人	福祉事務 所・児童 委員等	保健セン ター等	保育所 ・児童福祉 施設等	医療 機関	学校等	警察	その他	合 計
	父	母	その他											
5 年度	19	16	4	33	18	431 (159)※1	8	34	54	24	159	972	28	1,800 (159)※1
	2.2%			1.8%	1.0%	23.9%	0.4%	1.9%	3.0%	1.3%	8.8%	54.0%	1.6%	100.0%
6 年度	21	16	6	30	22	461 (132)※1	77	4	48	24	177	938	46	1,870 (132)※1
	2.3%			1.6%	1.2%	24.7%	4.1%	0.2%	2.6%	1.3%	9.5%	50.2%	2.5%	100.0%
7 年度	26	38	6	32	28	402 (134)※1	101	2	50	23	203	875	40	1,826 (134)※1
	3.8%			1.8%	1.5%	22.0%	5.5%	0.1%	2.7%	1.3%	11.1%	47.9%	2.2%	100.0%

※1 （ ）は、児童相談所から各区に調査を依頼した件数で内数。

※ 本資料において割合は四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。